

磐城時報

日刊 十月十四日
印刷所 磐城時報社
発行所 磐城時報社
社址 磐城石城郡平町
電話 二一七
代金 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
郵政特准掛號認爲新聞紙類
印刷部 印刷所 加納活版所
印刷部 印刷所 加納活版所

荒川、石山兩町議を 平町會で糾弾

第三校請負問題で 少壯町議連が憤慨

平町第三小學校の建具は千三百三検査した事實が判明したので町十餘圓で平町南町橋本喜七氏に會議員の大部分が憤慨し来る十落札したが、仕上げの期間が短六日の平町會に於て右兩氏の糾名の人々が仕上げ納品したもから同日の町會は第四校敷地變のであるが、八名の下請負人の更問題と相俟つて賑やかな場面うちは町會議員荒川淺次郎、石山治三郎の兩氏が入る事を知つた第三校増築委員會では仕事に着手せぬ前、議員がその町の請負に關係する事は町制でも禁じてゐる事であり、勿論平町の條例にも違反するので問題となり激論の結果前記兩氏は仕事に關係せぬ事になつてゐた處、納品を調べた處、荒川、石山兩氏が製作したものもあるばかりでなく右兩氏は委員の立場にあるため兩氏等も加はつて納品を招き披露の盛宴を張つた。

飯野社司 區長招待

平町八幡小路縣社飯野八幡神社祭典は十四日、十五日兩日執行されるが、青沼平町長は知事代りとして午前七時を期し動員演習を行ふ事になつたが、同演習は従來の模範演習と異なり正式に動員命令を作製して行ふもので縣下に於て初めての試みであるため特に福島縣隊司令部から山肩少佐が出張して指揮し終つて小學校で講評をなす筈である

平青訓發展策

焼石に水のかたち 切角後援會を組織しても 反響殆んどなし

平町青年訓練所は入所の該當者も拘はらず生徒僅か五十余名に三百餘名の多数に上つてゐるに過ぎぬばかりでなく一回乃至二各戸に通牒した。

滿洲事變紀念日 鹿島では動員演習

平青訓生 模範市街戰

石城郡鹿島村在郷軍人分會では十八日滿洲事變二週年紀念の計として午前七時を期し動員演習を行ふ事になつたが、同演習は従來の模範演習と異なり正式に動員命令を作製して行ふもので縣下に於て初めての試みであるため特に福島縣隊司令部から山肩少佐が出張して指揮し終つて小學校で講評をなす筈である

國旗掲揚

平町では十八日全町一致國旗を掲揚して滿洲事變紀念日を意義あらしめるやう青沼町長の名で小名濱町外二十三ヶ村の稅務歩を該當と見做し二十五日まで

昨年よりは多かつた 藝妓盆中の稼ぎ高

一人當り一日六圓
八十名で四千三百圓

平町花柳界に於ける舊盆中九月其筋に免租の手續をさる事にな一日から十四日までの働き高はつた。

清酒、醬油 品評會出品

第五回東北清酒品評會は十月十日仙臺市に於て、第九回縣下醬油品評會は同日福島市に於て開催され、石城郡からは清酒平窪村松本徳一氏の白馬の雪、外三十五点、醬油は平町小野園治次郎氏外二十点を出品する。

農會代表出發

東京の大計をと水量六十個の取入れを約倍數に當る百十個に増すべし設計變更を組合から縣へ申請したが、將來鮫川を利用して水利事業を起す場合水勢を減じ支障を來すとの理由で主務省の許可困難な状況にあるが、右について植田町長古川傳一氏は語る。

濱三郡 軟式野球

第三回濱三郡軟式野球大會は時事新報平支局後援の下に十七日午前八時から平町中、平商業平第一の三校庭で舉行されるが参加は前年の優勝オーパ浪江の強チームを筆頭に左の如くで、十四日午後七時から平町町大塚運動具店で主將會議を開き組合せを決定する筈である。

早害免租の田 石城郡で百五十町

七割減收は皆無とする
二十五日まで申請

早害免租の田 石城郡で百五十町

平町では十八日全町一致國旗を掲揚して滿洲事變紀念日を意義あらしめるやう青沼町長の名で小名濱町外二十三ヶ村の稅務歩を該當と見做し二十五日まで

仲作漁港 補助指令

石城郡中之作漁港修築工事は工費十五萬圓を以て七、八年度に亘つて施工中である、八年度は工費十一萬二千五百圓であるうち國庫補助金五萬六千二百五十圓交付する旨拾三日農林大臣より縣に指令があつた。

鮫川疏水 増水計劃

工費參拾萬圓を投する石城郡鮫川江筋は漸く設計成つて近く着工する運びとなつたが、最近に至り折角巨費を投するならば百年の大計をと水量六十個の取入れを約倍數に當る百十個に増すべし設計變更を組合から縣へ申請したが、將來鮫川を利用して水利事業を起す場合水勢を減じ支障を來すとの理由で主務省の許可困難な状況にあるが、右について植田町長古川傳一氏は語る。

横濱の泥棒 勿來て捕はる

横濱市中區田沼町十一番地生れ前科五犯遠藤清三三三は六月二十九日水戸刑務所を出獄後横濱市保土ヶ谷區宮田町小坂與吉不在宅から衣類その他を窃取し勿來炭礦に逃げて來た處を植田署に捕はれた。

米穀商組合關係者談

出來るだけ勧誘すると申しましたが、雇人に一日、二日宛休まれると直接營業方面に影響するので今俄かに困ります

減刑嘆願

大日本生産黨石城支部長渡邊甚内氏は五・一五事件について減刑の嘆願書を陸軍、海軍兩大臣その他關係筋に送るため調印し、纏め中の處三千二百名が纏まつたので十三日發送した。

飛行演習

陸軍所澤飛行學校では本月下旬約一週間の豫定で所澤一小名濱間において大規模の飛行演習を行ふ事に決し過般來同學校教官山崎飛行中尉が着陸地点としての種々な條件を秘密裡に調査中であつたが總ての點に適してゐる模様で十一日歸校した。

産馬區長會

石城郡産馬畜産組合では十八日平町團體事務所にて區長會を開き上川技手の後任について人選の打合せをなす。

登記一覽

株式會社設立 株式會社信濃會計監理所平支店、場所平町二丁目二八〇。目的諸會計書類の調製並に監督、帳簿及書類の出版並に販賣、金銭貸付並に仲立、諸會社設立に關する一切の業務其他之に附帶する一切の業務。常務モリス商事助成株式會社 平町十五丁目二六。目的金銭貸付業、保險代理業。不動産並に有價証券の所在及び處分、本業に必要又は便利の事業は當會社の附帶事業として之を執行するを得、而して前記業務取捨決定は取締役會の決議による。取締役平町十五丁目二六佐藤慶太郎、平町鎌田町十二金成忠義、茨城縣多賀郡平瀨町本町三〇八芳賀三郎、平町田町三三鈴木信雄。監査役平町新川町十九諸橋國松、平町古銀治町八七端山正男。資本金一萬圓 (一、株二千圓) 常務モリス証券株式會社 平町十五丁目二六。目的有價証券の買及仲介株式の取得及び處分。資本金一萬圓 (一、株五十圓) 十二圓五十錢拂込) 取締役 平町研町十一瀧田義介、十五丁目二六佐藤慶太郎、田町三三鈴木信雄、平町橋樋小路十六色川光以、新川町十九諸橋國松

出生 播磨小路五村上清三男利男 死亡 平町長橋町五〇岩谷ナツ子 (八ツ) 貸家案内 長橋町十二階建五間水道付 (以上五丁目釜屋商店) 南町五一、二階建三間 (以上五丁目釜屋商店) 平町田町野崎自動車部跡 (賣却も御相談に應ず) 家主平野野崎喜八郎 田町マルカ書店跡 家主加藤正保 求職 給仕 立町五五アサチ男草野光男 (十五) 高卒 湯本町榮田三三チヨ長男佐川武芳 (十七) 高卒 事務員 平窪村下平窪字蝦治内二七彌藤太四男木田清吾 (十九) 中卒 平町久保町三三基平次男青木信夫 (十八) 中卒 洋服工 内郷村宮平太郎一七求亮長男安藤定一 (十一) 高卒 女中 平町北町繁造二女小野チヨ (二三) 高卒 書生 双葉郡龍田村字井出健太郎長男三浦健次郎 (十八) 中卒 求人 事務員 中卒二名湯本郵便局 滋養見習、十歳位より数名 (平町田町仲家鈴木武雄) 見習徒弟 募集 右希望者は御來談を乞ふ 加納活版所

劇、映畫 平館十四日替り 全發聲日本版「密林の王者」パラマント社作品。菊地寛氏作「真珠夫人」(全)監督畑本秋一、脚色小林正、配役アリ子伊達里子、美奈子山田五十鈴、唐澤山本嘉一、光一杉山昌三九、妻新井シマ、勝彦杉狂児、杉野吉井、直瀬田村道美、岩田市川小文治、青木伊澤二郎、大下大崎史郎。「曠野の果」大佛次郎原作、新人大谷日出夫、山田五十鈴、花井蘭子、田中春男、山本禮三郎 共演 平町人事 播磨小路五村上清三男利男 死亡 平町長橋町五〇岩谷ナツ子 (八ツ) 貸家案内 長橋町十二階建五間水道付 (以上五丁目釜屋商店) 南町五一、二階建三間 (以上五丁目釜屋商店) 平町田町野崎自動車部跡 (賣却も御相談に應ず) 家主平野野崎喜八郎 田町マルカ書店跡 家主加藤正保 求職 給仕 立町五五アサチ男草野光男 (十五) 高卒 湯本町榮田三三チヨ長男佐川武芳 (十七) 高卒 事務員 平窪村下平窪字蝦治内二七彌藤太四男木田清吾 (十九) 中卒 平町久保町三三基平次男青木信夫 (十八) 中卒 洋服工 内郷村宮平太郎一七求亮長男安藤定一 (十一) 高卒 女中 平町北町繁造二女小野チヨ (二三) 高卒 書生 双葉郡龍田村字井出健太郎長男三浦健次郎 (十八) 中卒 求人 事務員 中卒二名湯本郵便局 滋養見習、十歳位より数名 (平町田町仲家鈴木武雄) 見習徒弟 募集 右希望者は御來談を乞ふ 加納活版所

貸切御用命ハ セヒ 三井自動車部へ 電話六八五番 乗合は 好間合戸澤渡方面行 助手 至急募集 秋の...サロンの 今が夏マケの絶頂 健康恢復が急務 サロンの 健康ランチ...四十銭 美味で 評判の サロンの 平町 電話三五二番

平町田町(電話五二三番) 高久病院 醫學士 高久 赤羽 新瀨醫學士 赤羽 藥劑士 佐竹 菊雄 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

耳鼻咽喉科 門專 氣管食道科 門專 病室完備...自炊の便あり 平町南町 大和田醫院 電話一七〇番

コンポーク 鹽豚 平町田町 三三三三屋 電話三三三番

大藏省允許 無盡蔵 貯蓄 共済 共栄 電話三三三番

二葉印刷所 平町仲町・電話一九三番

室内衛生完備・短時間仕上 研美院 平町田町 高橋輝子 五町田町 研美院 高橋輝子 美容師 和洋結髪 シャンプー 毛染 マニキュア 御婚禮化粧着附

吉田眼科病院 平町紺屋町 電話六八番

縣社飯野八幡神社祭典 奉立華、生花陳列 九月十四日、十五日兩日 平町田町 松月堂向ひ 主催 岡田華悦社中